



菊池 巳喜男 議員
(清風会)

地域農業マスタープラン (人・農地プラン)の取り組みについて

問 地域農業マスタープランはどんな事業で、遠野市ではどのように取り組もうとしているのか。

答 国において「我が国の食と農林漁業の再生のための基本行動計画」が平成23年10月に決定され、市では地域の中心となる経営体の育成や農地の集積を明確にするため、集落ごとに地域農業マスタープランを作成することになり、関係機関と市で構成する支援チーム

を設置し、連携を密にして作成に取り組んでいる。また、8月の定例区長会において、制度内容を説明し、農協の秋期座談会でも農業者に制度周知を図ることにしている。この中で、農業従事者の高齢化や担い手農家の減少、耕作放棄地の増加等を解決するため5年後の姿を地域が主体となつて地域農業の設計図とするため推進していく。

問 この制度を推進する方法として、農業者全戸のアンケート調査もひとつの方策ではないのか。

答 プランを早急に立てなければならぬ。場合によつては、支援チームと地域の現場のリーダーの相談により、アンケート調査も

でてくる事もあるので参考にしたい。

問 農地集積協力金もプランにあるが、お力ネで農地を集約することになって、地域の繋がりが失われるのではないか。

答 農地集積協力金は地域農業マスタープランが作成されるのが要件となつている。将来中心となる担い手や農地の集積が進んだ場合、複合経営への転換や、集落営農組織の設立など、議論していくものであり、計画的に地域農業の持続的発展を図り、コミュニティを維持することが重要な目的である。

問 土淵町の山口集落や綾織町の千葉家等遠野の代表

的な文化財の現状と今後の取り組みについて。

答 市と山口自治会が一体となり、7月には国の重要な文化的景観の選定に向け申出を行い、国の審議を受けることになつている。千葉家住宅は建築から180年となり、所有者と話し合いを進め公有化を図っていく。

問 遠野「語り部」1,000人プロジェクトの認定事業での文化の継承と推進状況は。

「国の重要文化的景観」の選定が待たれる山口集落



「国の重要文化的景観」の選定が待たれる山口集落

一問一答
方式